

衆議院農林水産委員会ニュース

【第 211 回国会】令和 5 年 6 月 14 日（水）、第 12 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・肥料及び飼料の価格高騰等に関する実情調査のため、茨城県において視察を行った委員を代表して、笹川委員長から報告を聴取しました。

2 農林水産関係の基本施策に関する件（食料・農業・農村基本法の見直し等）

- ・野村農林水産大臣、野中農林水産副大臣、角田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）武部新君（自民）、庄子賢一君（公明）、金子恵美君（立憲）、近藤和也君（立憲）、緑川貴士君（立憲）、青山大人君（立憲）、足立康史（維新）、長友慎治君（国民）、塩川鉄也君（共産）、仁木博文君（有志）

（質疑者及び主な質疑事項）

武部新君（自民）

食料・農業・農村基本法の見直し関係

- ア 現行基本法制定当時の情勢の変化
- イ 岸田内閣総理大臣の掲げる「新しい資本主義」をどのように基本法に取り込んで農業・食品産業の持続的な発展を図るかについての考え方
- ウ 平時からの食料安全保障の在り方

庄子賢一君（公明）

食料・農業・農村基本法の見直し関係

- ア 国内農業生産の着実な増大についての農林水産大臣の所見
- イ 再生産を可能にするための適正な価格転嫁関係
 - a 国民の理解醸成に向けた取組
 - b 食料供給システムの生産、加工、流通等の各段階で構築すべき取引の仕組み
- ウ 消費者の役割に関して「食料の安定供給を考慮して消費行動に努める」旨の内容を具体的に書き込むことの検討の可能性
- エ 来年の通常国会への改正案提出を目途に進めていく中で国民の議論への参画を促すための取組
- オ 海外の事例を参考に個人レベルの食料安全保障の状況を定期的に評価する仕組みの必要性

金子恵美君（立憲）

（1）東日本大震災からの復旧・復興関係

- ア 福島県営農再開支援事業の継続に向けた農林水産大臣の決意
- イ A L P S 処理水の海洋放出の影響を受ける漁業者を守る当事者としての農林水産大臣の応援の言葉

（2）食料・農業・農村基本法の見直し関係

- ア 現行基本法下における大規模化偏重の農政の総括、反省及び転換
- イ 不測時における国民への制約を伴う義務的措置についての丁寧な議論及び不利益を受ける関係者に対する救済策の必要性

（3）農林水産省の定員について大幅な新規増員要求を行うとともに、要求人数の確保を図る必要性

近藤和也君（立憲）

- (1) 竹による森林浸食の抑制及び竹の有効活用の推進の必要性
- (2) 令和3年において赤字経営であった稲作農家の割合
- (3) 農家の実情調査について基本法に規定する必要性

緑川貴士君（立憲）

食料・農業・農村基本法の見直し関係

- ア 関係する省庁と連携して食料安全保障に関する共通理解に基づいて施策の具体化を進める必要性
- イ 国産農産物の適正な価格形成の仕組み関係
 - a 農家の生産コストと消費者の負担とのバランスのとり方
 - b 価格交渉の仕組み及び中小経営体への配慮
- ウ 農村政策と農業政策を繋ぐことができる多様な農業人材を基本法に位置付ける必要性
- エ 多様な農業人材に関する施策における農村型地域運営組織の位置付け

青山大人君（立憲）

レンコン栽培関係

- ア 梅雨前線による大雨及び台風第2号での被害に対する支援の必要性
- イ 梅雨前線による大雨及び台風第2号での被害について激甚災害指定の有無にかかわらず支援する必要性
- ウ ジャンボタニシ防除対策への支援の必要性

足立康史君（維新）

食料・農業・農村基本法の見直し関係

- ア 安易で拙速な基本法の見直しで生産性向上による食料の安定供給を目指す現行基本法の考え方が後退することを憂慮すると元事務次官が述べていることに対する農林水産大臣の感想
- イ 食料安全保障のために農産物の生産性の向上及び輸出拡大が必要であることを理由とする生産抑制批判に対する反論
- ウ 生産調整ではなく輸出拡大という現行基本法の精神の変更の有無
- エ 小麦の自給率目標
- オ 令和12年以降の小麦の自給率目標の有無
- カ 「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」で言及されている「農地の受け皿となる経営体」の概念について、「効率的かつ安定的な経営体」との関係性
- キ 新たな基本法における兼業農家の位置付け
- ク 基本法の見直しにおいて安倍政権が進めてきた農政改革及び構造改革の軌道修正を図ろうとしているかについての確認
- ケ 安倍政権の構造改革路線からの変更はない旨の農林水産大臣に対する確認

長友慎治君（国民）

- (1) 酪農関係
 - ア 指定生乳生産者団体が生産者に乳製品の買取りを求めている実態の把握状況
 - イ 生産者による買取りではなく国全体で農産品等の消費拡大、購買運動を行う必要性
 - ウ ロングライフ牛乳の増産及び輸出促進に取り組む必要性
- (2) 農業者の所得が上がらない理由

塩川鉄也君（共産）

- (1) 災害を契機とした離農者数の把握状況
- (2) 災害の規模により被災農家への支援策の内容が異なる状況を見直す必要性
- (3) 台風第2号等の豪雨による茨城県取手市双葉地区の浸水被害関係
 - ア 同地区にある排水機場の水稻の湛水被害防止に係る能力
 - イ 農地周辺の民家の浸水被害防止のため最大湛水深を見直す必要性
 - ウ 民家の浸水被害に対する国土交通省の対策
 - エ 民家の床上浸水に対する下水道浸水対策の効果
 - オ 農林水産省として国土交通省や自治体と連携して民家の浸水被害対策を講じる必要性
 - カ 双葉地区の内水排除のための排水路及び国直轄の排水機場の新設に関する取手市から茨城県への要望の把握状況及び対応

仁木博文君（有志）

米政策関係

- ア 米農家が国民の平均所得を確保するために必要な耕作面積及び手法
- イ 耕作放棄地が増えないように国がより踏み込んだ伴走支援を行う必要性
- ウ 飼料用米のうち国指定の品種でないものに対する助成の引下げという情報の真偽及び飼料用米に対する国のサポートによる経営維持の必要性
- エ 農家に対して利用できる助成制度の周知を図る必要性及び食料安全保障関連予算の増額の要望